

V 現行プログラム変更要望の次期対応について

2014年9月30日

輸出入・港湾関連情報処理センター(株)



➤ 現行プログラム変更要望一覧（次期NACCS検討用）

1. 航空・海上共通
2. 海上

➤ 検討可否欄の記号の見方

- K : 既にWGにおいて検討するとしている項目
- S : サブWGにおいて検討する項目
- : WGにおいて検討する項目
- : WGにおいて検討予定であるが、詳細要件を確認する必要がある項目
- △ : 仕様確認中又は関係省庁において確認中の項目であり
確認結果により検討要否を決定する項目
- ▲ : 要望再確認結果により検討要否を決定する項目
- × : システム対応不可、費用対効果が小さいと思われるもの、
要望内容が不明なもの等の理由により検討しない項目

現行プログラム変更要望一覧（次期NACC S検討用）

1. <<航空・海上共通>>

項番	区分1	区分	要望元	業務コード	変更要望内容	検討状況	検討要否	第8回WG委員意見
1	航空 海上	貨物	成田通協	-	海上貨物の輸入から航空貨物として積み戻す場合など、航空・海上間での、貨物情報の移行手順をシステム内で確立してほしい。	「海上システムでの航空貨物を扱う機能の廃止」にて検討	K	
2	航空 海上	貨物	日本貿易会	IIR	輸入指示書登録（IIR）業務の項番80（通関方法）の選択肢に、下記項目を追加してほしい。 「HT（引取・納税申告）」 「H（引取申告）」 「T（特例申告）」	サブWG(SI・IV)対象	S	
3	航空 海上	貨物	日本貿易会	IIR IVA IDA	IIR業務での延納の担保番号などを、インボイス情報登録(IVA)業務や輸入申告事項登録(IDA)業務でも利用できるようにしてほしい。	サブWG(SI・IV)対象	S	I D Aの運用を視野に入れるのであれば、税番入力欄が1つしかないので、少なくとも5欄程度入れられるよう検討してほしい。（通関） <u>→IIR業務の品目コードは品名とのリンクがされていないため5欄に増やしてもメリットがない。また、荷主に品目コードの入力を求めるのは困難。</u>
4	航空 海上	管理資料	日海貨	-	コンテナ検査を行った場合、管理資料（保税台帳）に輸入許可日が反映していないことから当該事項も反映してほしい。	仕様確認後検討可否決定 →検査場で許可となった場合、検査場はシステム外の扱いなので、計上されないが、搬出元蔵置場にて計上してよいかを税関に確認	△	
5	航空 海上	管理資料	日海貨	-	保税管理資料について、輸入及び輸出データの抽出日が違うため取り出しを失念することがあることから、当該管理資料の配信日を統一してほしい。	検討しない 新情報提供サービスでの対応を検討	×	
6	航空 海上	管理資料	事務所個別	-	現在週報として配信されている「輸入貨物搬出入データ」等を月報とし、当該情報の中で内訳として週単位の出力表示をしてほしい。	検討しない 新情報提供サービスでの対応を検討	×	
7	航空 海上	管理資料	事務所個別	-	「口座使用明細データ」の出力項目「AWB番号／社内整理番号」について、A i r - N A C C Sでも社内整理番号で出力してほしい。	検討する	○	

項番	区分1	区分	要望元	業務コード	変更要望内容	検討状況	検討要否	第8回WG委員意見
8	航空海上	管理資料	事務所個別	-	口座使用明細データ（全営業所実績表）において、輸入申告番号を出力するようにしてほしい。また申告者については、申告者コードだけでなく、申告者名も出力するようにしてほしい。	仕様確認後検討可否決定 →全営業所実績表は、輸入申告番号を出力していない。 新情報提供サービスでの対応を検討	△ ×	
9	航空海上	管理資料	事務所個別	-	リアルタイム口座帳票要否登録（URK）において、出力要と設定すると全ての荷主の帳票が出力されてしまうため、荷主により出力要否が選択できる設定を設けてほしい。またリアルタイム口座帳票を再出力（ROT）の対象としてほしい。さらに出力先にNACCS参加の荷主も追加してほしい。	検討しない	×	リアルタイム口座帳票要否登録の一括設定から荷主ごとの設定への変更は、ニーズがあるので検討していただきたいが、難しいようであればNACCSでの対応ではなく新情報提供サービスでの対応を検討して頂きたい。 1つのファイルに複数の輸入者の情報が混在していると、顧客へ送付するためには、人の手作業で輸入者毎にファイルを分ける作業が発生する為、情報管理の面からシステム化を求めます。 →システムでの対応は難しく、通関業者への負担も大きいため、新情報提供サービスでの対応を検討
10	航空海上	管理資料	日本貿易会	-	NACCSとCCISの許可データ項目に相違があるが、CCISと同等の情報を提供してほしい。また、申告変更事項登録情報についても提供してほしい。	サブWG(SI・IV)対象	S	
11	航空海上	管理資料	事務所個別	-	口座使用明細データについて、受入科目をソート条件に入れてほしい。	検討しない	×	
12	航空海上	管理資料	事務所個別	-	輸出入許可情報を一件毎だけでなく、一覧としてCSVデータとして取り出せるようにしてほしい。	検討しない 新情報提供サービスでの対応を検討	×	
13	航空海上	管理資料	事務所個別	-	輸出入者においても、輸入申告一覧データ及び輸出申告一覧データの管理資料情報をCSV形式で取り出せるようにしてほしい。	検討しない 新情報提供サービスでの対応を検討	×	
14	航空海上	管理資料	事務所個別	-	管理資料の配信日について、管理資料ごとに異なっているので同一日の同一時間に配信してほしい。	検討しない	×	

項番	区分1	区分	要望元	業務コード	変更要望内容	検討状況	検討要否	第8回WG委員意見
15	航空海上	管理資料	事務所個別	-	現行の送受信電文一覧印刷をCSVデータとして取り込めるようにしてほしい。	要望内容確認後検討可否決定 →特段の意見もないことから検討しないこととする	▲ ×	
16	航空海上	共通	事務所個別	APA	船陸交通許可通知書が、申請を行ったパソコンに返信されるように、電文形式を変更してほしい。	要望内容確認後検討可否決定 項番19と同一内容	▲	
17	航空海上	共通	事務所個別	APA	③船陸交通許可通知書を携帯電話などの携帯端末に転送する機能を追加してほしい。	「WebNACCSの提供範囲の拡大」にて検討 項番19と同一内容	K	
18	航空海上	共通	事務所個別	APA	APA（指定地外/船陸/船舶間交通許可申請）業務で入力可能な交通者（氏名・住所等）は20名分となっているが、荷役作業員や乗組員の人数が20名を超えることが多いため、100名程度まで入力できるようにするか、または氏名表を添付できる機能を追加してほしい。	検討する WGにて要望内容詳細確認 項番19と同一内容	●	
19	航空海上	共通	事務所個別	その他	船陸交通許可書、汎用申請を、携帯電話等の携帯端末にも、自動転送可能な機能をつけてほしい。また船陸交通許可書、汎用申請、入出港業務等の許可書は、EXC型電文ではなく、他の電文方式に変更してほしい。	「WebNACCSの提供範囲の拡大」にて検討	K	
20	航空海上	共通	日本貿易会	-	NACCSの各業務について、入力項目の名称や入力桁数を統一してほしい。	検討する	○	
21	航空海上	共通	事務所個別	MSB	添付ファイル登録（MSB）業務において、添付できるファイルの容量（現在仕様3MB以上に）を増やしてほしい。		K	
22	航空海上	端末			パッケージソフトの機能改善（要望多数）。	複数の要望をまとめて検討する。	○	
23	航空海上	端末	事務所個別	-	デジタル証明書について、Vista以降三つの証明書の取得が必要となっているため、一つに纏めてほしい。また証明書取得や更新時に遷移画面が多く、分かりづらいため、一画面で証明書の取得や更新が可能となるようにしてほしい。	検討する	○	

項番	区分1	区分	要望元	業務コード	変更要望内容	検討状況	検討要否	第8回WG委員意見
24	航空海上	通関	事務所個別	OLC OLT	IS承認されている貨物を蔵置場から蔵置場への保税運送を、NACCSで運送許可から搬入確認まで出来るようにして、受け取った側で、NACCS登録してNACCSで在庫管理ができるようにしてほしい。	「蔵入及び移入貨物の後続業務の可能化」にて検討	K	
25	航空海上	通関	日本通関業連合会	-	ISW時に再ISの申告情報を自動的に反映できるようにしてほしい。	「蔵入及び移入貨物の後続業務の可能化」にて検討	K	
26	航空海上	通関	事務所個別	IDC	IS承認後も貨物情報を削除せず、NACCSによる貨物管理を行えるようにしてほしい。	検討する 「蔵入及び移入貨物の後続業務の可能化」で検討	K	
27	航空海上	通関	JAJA	-	輸入別送品申告をシステム化してほしい。	検討しない →税関に確認	×	システム化を再検討してほしい。 一部残る、マニュアル申告から脱却できるので検討していただきたい。 別送申告書自体の電子化、マルチペイメント方式を取り入れた納付方法の検討などを視野に入れ再度検討して頂きたい。 (通関) →システム化について、再度関税局・税関に検討をお願いすることとする。
28	航空海上	通関	事務所個別	-	輸出申告情報又は輸出貨物情報を利用して、再輸入手続ができるようにしてほしい。	輸出取止め再輸入手続きは検討する。 再輸入手続きは検討しない。	K	Re-ship手続き後にUTL指示が来たときなど、現在マニュアル作業なのでシステム化を希望
29	航空海上	通関	事務所個別	AMA	オンラインリアルタイム口座を使用した修正申告の場合にも、通常の輸入申告の場合と同様に、記事欄の内容を管理資料情報(CBF7620口座使用明細データ(営業所別実績))の「AWB番号/社内整理用番号」欄に出力してほしい。	検討する (*単純に記事欄を出力するという要望であれば)	○	

項番	区分1	区分	要望元	業務コード	変更要望内容	検討状況	検討要否	第8回WG委員意見
30	航空海上	通関	JAJA	AMA	AMA業務の入力後、数日経過するとデータが消えるため、修正申告予定年月日を入力できるようにしてほしい。	システム制限値（DB保存期間）6日→10日を検討	K	・10日への変更を検討中ということですが、事前の確認などに時間がかかることも多いので、ぜひ検討していただきたい。 →保存期間は日曜・祝日を除く日数であるため約2週間程度の保存される。 合わせて修正申告について補足要望です。 ・納付方法に「延納」の追加を希望 →修正申告での当初納付税額を超える税額部分は延納の対象外であるため即納する必要があります。
31	航空海上	通関	日海貨	AMA	修正申告事項登録データの保存期間が約1週間となっているが、事項登録から実際の申告までには、数日要する場合がありますため、登録データ保存期間を2週間程度に延長してほしい。	システム制限値（DB保存期間）6日→10日を検討	K	・「マルチペイメント（MPN）」納付の場合、納付前ということで、延滞税が修正申告書上と納付番号通知情報に記載されず、顧客がインターネットバンキングで納付する際に計算された本税と合算された税額が振込画面上に表示されるだけなので、納付後には修正申告書に延滞税が記載されるようにしてほしい。（通関） →修正申告の延滞税は納付後に確定するため、申告控に出力することはできません。ATM等の画面でご確認ください。
32	航空海上	通関	事務所個別	DLI01 DLI02 DLI03	DLI01,DLI02,DLI03業務を利用した際に出力される「呼出し用申告番号」を自動印刷機能の対象としてほしい。	検討しない	×	
33	航空海上	通関	東京通関業会	DLI02	出力コード「*C1DI02」は自動印刷できない電文であるため、出力コード「*C1DI02」を帳票電文、又は、自動印刷のできる画面電文に変更してほしい。	検討しない	×	
34	航空海上	通関	事務所個別	EAA	バルク貨物において、本船への船積・出港が税関の執務時間外に行われた場合、本船出港後の翌日に、数量に対する輸出許可内容変更申請を行うことになるが、EAA（輸出許可内容変更申請事項登録）業務の出港予定年月日に、過去日を入力することができないため、入力できるようにしてほしい。	検討しない	×	
35	航空海上	通関	JAJA	EAB	EAB業務を利用して許可情報の変更をした項目について、許可内容変更通知書に反映される項目が個数など一部のみであることから、許可後の訂正をしたすべての項目(NET WEIGHTなど)について、変更通知書に打ち出されるようにしてほしい。	要望内容確認後検討可否決定 →特段の意見もないことから検討しないこととする	▲ ×	

項番	区分1	区分	要望元	業務コード	変更要望内容	検討状況	検討要否	第8回WG委員意見
36	航空海上	通関	日海貨	EAB EAA	船会社都合による輸出許可後の訂正は、通関業者が行っているが、海貨業者や船会社が自己の都合で許可内容を変更すべきときは、当該業者が訂正できるようにしてほしい。	検討しない	×	
37	航空海上	通関	日海貨	EAB EAA	許可後変更において、「N:数量等変更」を入力・送信後、「S:船名変更」に変更できない。訂正申告前であれば訂正できるようにしてほしい。	検討しない	×	
38	航空海上	通関	事務所個別	EDA	EDA業務で作成した申告情報ファイルの保存期間を現行の6日から7日に変更してほしい。		K	
39	航空海上	通関	日本貿易会	EDA	B/L番号について、アメリカの24時間前ルールなどのため、ブッキング番号に SCAC コードを付けてB/L番号にしているところがほとんどであり、早期に判明している場合があるため、輸出許可情報にB/L番号を表示してほしい。	「輸出申告における入出力項目見直し」にて検討	長 ×	
40	航空海上	通関	JAJA	EDA	輸出申告事項登録画面を展開する際、大額、少額種別を選択するにもかかわらず、展開画面上にも「大額、少額識別」の入力するのは不要かと思われるので、当該欄の入力を省略できるようにしてほしい。	検討する	○	
41	航空海上	通関	日海貨	EDA	入力控では「提出先」、入力画面では「あて先部門」となっているので表記を統一してほしい。	「輸出申告における入出力項目見直し」にて検討	K	
42	航空海上	通関	日海貨	EDA	BOOKING番号の記載欄を加え、輸出許可書に記載されるようにしてほしい。	検討しない	×	
43	航空海上	通関	日海貨	EDA	最大50欄の欄数を増加してほしい。		K	
44	航空海上	通関	日本貿易会	EDA IDA	インボイスをHSコード毎に仕分けした結果、申告欄数が50欄を越えると、分割申告をしなければならないので、改善してほしい。		K	
45	航空海上	通関	事務所個別	EDC	輸出許可情報に輸出貨物情報登録（ECR）業務で入力される「船卸港」、「ブッキング番号」も出力されるようにしてほしい。	検討しない	×	
46	航空海上	通関	JAJA	EDC MEC	搬入伝票の積込港と申告書の積込港が異なっている場合にはエラーとしてほしい。	検討しない	×	

項番	区分1	区分	要望元	業務コード	変更要望内容	検討状況	検討要否	第8回WG委員意見
47	航空海上	通関	東京通関業会	IAS	1回1回送信するのではなく、ICG業務と同様に繰り返し照会ができるようにしてほしい。	検討する	○	
48	航空海上	通関	東京通関業会	ICP	複数の特恵税率適用を確認したい際、何度も入力を行わなければならないのが手間のため、HSコード10桁による一覧表を照会できるようにしてほしい。	検討しない	×	
49	航空海上	通関	事務所個別	IDA	担保の適用日は、申告予定日としてほしい。	検討する	○	
50	航空海上	通関	成田通協	IDA	延納を行った場合の入力控について、口座使用の場合と同様に1欄申告の場合は入力控を1枚で出力してほしい。	「輸出入申告における入出力項目見直し」にて検討	K	
51	航空海上	通関	成田通協	IDA	貨物がマッチングしているにも拘らず、フライト便名等の情報が出力されないため、旧NACCSのように出力してほしい。	仕様確認後検討可否決定 →Air予備申告の場合フライト便情報は申告情報として不要となった。IDA業務実施時だと、その後、予備申告がされるのか、通常申告がされるのか判断できないため、IDA時点ではフライト便名等は貨物情報から補完されない仕様となっている。	△ ×	現在の仕様で特に問題なく、基本不要。 情報を補てんするようになるるとまた申告書を受信する件数が増えることになるので、もし行うのであれば営業所ごとに選択できるようにしてほしい。（通関）
52	航空海上	通関	船舶代理店協会	IDA	CY通関の際、輸入許可書にコンテナ番号が表示されないのので表示してほしい。	検討しない すべてのコンテナ番号を表示するのは困難	×	
53	航空海上	通関	東京通関業会	IDA	運送兼用の蔵入承認申請について、到着後、データ保管期間が3日間であり、搬入確認のタイミングが合わないため、他と同様1週間にしてほしい。		K	
54	航空海上	通関	東京通関業会	IDA	輸入承認証番号等の入力欄は5欄まで可能であるが、入力欄を増やしてほしい。		K	通関時に足りなくなることも多いのでぜひ検討してほしい。 また薬事書面の電子化に伴い、1申告あたりの届出数が多くなることも予想されるので必要数を検討してほしい。（通関）
55	航空海上	通関	東京通関業会	IDA	仕出人及び住所欄の桁数を増やしてほしい。		K	
56	航空海上	通関	東京通関業会	IDA	入港日が必須項目となっているが、航空システムで可能となっているように、blankにて申告できるようにしてほしい。	仕様確認後検討可否決定 →Seaは基本的にIDA時点で必須（郵便物除く）。ただし、貨物情報からの補完は可能となっている。 ⇒具体的にどのような場合を想定しているか確認	△ ▲	

項番	区分1	区分	要望元	業務コード	変更要望内容	検討状況	検討要否	第8回WG委員意見
57	航空海上	通関	東京通関業会	IDA	1申告5B/L以下であればシステム申告可能であるが、10B/L以下の申告も、システムで行えるようにしてほしい。	検討しない (豚肉、税率適用のため等のケースに利用されているが、頻度が低い)	×	
58	航空海上	通関	日海貨	IDA	納税方式がブランクの場合は「直納」であるが、直納用のコードを設け、納税方式がブランクの場合はエラーとしてほしい。	検討しない	×	
59	航空海上	通関	日海貨	IDA	ケースマーク入力の際、印刷時の改行ポイントが分かりにくい ため、ケースマークの入力画面に印刷時の改行ポイントが分かるように表示してほしい。	検討する 具体的な要望を確認	⊕ ▲	
60	航空海上	通関	日海貨	IDA	輸入申告入力控の関税・消費税の「納付方法及び口座」欄を延納番号、口座番号と表示してほしい。	「輸出入申告における入出力項目見直しにて」検討	K	
61	航空海上	通関	日海貨	IDA	FOB、C&I、C&F、CIF以外はNACCSで自動計算されないため、その他の価格条件(FCA、CPT、CIP等)も自動計算出来る様にしてほしい。	検討しない	×	
62	航空海上	通関	日海貨	IDA	I/V価格の建値は、CIF、C&F、C&I、FOBしか入力する事ができない。EXW、FCA、CFR等も入力可能としてほしい。	検討しない	×	
63	航空海上	通関	日海貨	IDA	他法令が関連している場合、複数B/Lを1申告合算して行う際、共通管理番号が使用できない。B/Lの共通管理番号を他法令B/L分として共通に申告できるようにしてほしい。	「他法令手続きにおける複数B/L入力可能化」にて検討	K	
64	航空海上	通関	JAJA	IDA	外貨船機用品積み込み承認申請をシステム化してほしい。	→具体的な要望内容が不明のため検討しない	⊕ ×	
65	航空海上	通関	成田通協	IDA	輸入申告事項登録(輸入申告)(IDA_AID)業務で、口座番号入力画面が下部に隠れているため、画面全体が表示されるようにしてほしい。	「輸出入申告における入出力項目見直し」にて検討	K	
66	航空海上	通関	事務所個別	IDA	輸出入者符号と包括保険番号をキーにして、包括保険指数の照会業務を追加してほしい。	検討する	⊕ S	

項番	区分1	区分	要望元	業務コード	変更要望内容	検討状況	検討要否	第8回WG委員意見
67	航空海上	通関	事務所個別	IDA	口座振替の輸入申告等に関して、輸入申告事項登録（IDA）登録時に口座番号欄の登録が漏れた場合、直納扱いの申告で審査終了になり、納付方法の変更ができないため、変更が出来るようにしてほしい。	検討しない	×	
68	航空海上	通関	事務所個別	IDA	輸入申告事項登録（IDA）業務について、包括保険登録番号は適用日に関わらず、入力できるようにしてほしい。	検討する	○	
69	航空海上	通関	事務所個別	IDA JTB	輸入申告事項登録（IDA）業務で、輸入承認証欄に「I：輸入承認証(有為替、または無為替及び有為替両方がある場合)」が入力された場合、輸入承認証等欄に「ILNO」又は「ILNJ」（JETRASを利用する場合のコード）が必須入力となっているので、当該項目を入力し忘れた場合、エラーを出力してほしい。	仕様確認後検討可否決定 →変更要望内容の通り、「I」、「F」が入力された場合の「ILNO」または「ILNJ」の必須チェックはない。	△ ×	
70	航空海上	通関	成田通協	IDC	申告区分1は現行のままでもいいが、区分2、3等の許可書は、許可書1枚のみが出力されるようにしてほしい。	検討しない	×	
71	航空海上	通関	成田通協	IDC	延納、BP等の申告書(許可書)に関して、1欄の申告にも関わらず申告書(許可書)が1/2、2/2で2枚にまたがって印字されるため1枚の紙で出力してほしい。	検討しない	×	
72	航空海上	通関	東京通関業会	IDC	予備申告時の申告書の貨物情報が貨物搬入後の貨物情報と異なる場合、異なった情報のまま本申告できてしまうため、異なった情報のまま本申告できないようにしてほしい。	要望内容確認後検討可否決定 異なったまま申告できる項目は何かを確認	▲	
73	航空海上	通関	事務所個別	IDI	輸入申告等一覧照会（IDI）業務で照会を行った結果に、通関予定場所での搬入済みかどうかの識別を追加してほしい。	検討しない	×	
74	航空海上	通関	東京通関業会	IER	IER業務について、ICGやIID業務のように繰り返し入力を可能にしてほしい。	検討する	○	
75	航空海上	通関	日海貨	IER	一度に複数の通貨について照会できるようにしてほしい。または換算レート表示画面から別の通貨の照会を可能にほしい。	検討する	○	

項番	区分1	区分	要望元	業務コード	変更要望内容	検討状況	検討要否	第8回WG委員意見
76	航空海上	通関	JAJA	IES	IES業務の照会事項に下記の項目を追加してほしい。 輸出者名(輸出者符号ではなく会社名を表記してほしい) 仕立先のMAWB番号 / 積込港 / 仕向け地 / 個数 / 重量	「仕向地の項目追加及び申告時間順の表示変更」にて検討	K	
77	航空海上	通関	事務所個別	IEX IID	輸入申告等照会 (IID) 業務及び輸出申告等照会 (IEX) 業務において、画面をスクロールさせないと許可の有無が確認できないことから、当該情報を画面上部に出力してほしい。	検討しない	×	
78	航空海上	通関	東京通関業会	IID	IID業務にて照会しても、審査終了となっていることはわかるが、税関担当者や検査内容についてはわからない。税関の担当者や、検査の場合検査指定の内容までわかるようにしてほしい。	検討しない	×	
79	航空海上	通関	日海貨	IID	審査終了日の欄はあるが審査担当者の欄は無いため、FAINS同様、審査担当者の欄を追加してほしい。	検討しない	×	
80	航空海上	通関	成田通協	IIE	輸出入者符号については、輸出入者情報照会(IIE)業務にて確認できるが、仕向人コードについては、府省ポータル掲示板のみでしか確認出来ないため、輸出入者符号同様、NACCSから確認できる機能を追加してほしい。	検討しない	×	
81	航空海上	通関	日本貿易会	IVA	NACCSとCCISの許可データ項目に相違があるが、CCISと同等の情報を提供してほしい。(輸入担保番号、輸出B/L番号等また、輸出入申告変更事項登録情報、修正申告・更正の請求情報についても提供してほしい。	サブWG(SI・IV)対象	S	
82	航空海上	通関	日本貿易会	IVA	インボイス・パッキングリスト情報登録 (IVA) 業務について、入力した品目の明細を、PDF化できるようにしてほしい。	サブWG(SI・IV)対象	S	
83	航空海上	通関	日本貿易会	IVA	インボイス・パッキングリスト情報登録 (IVA) 業務について、通関業も入力可能な業種としてほしい。	サブWG(SI・IV)対象	S	
84	航空海上	通関	日本貿易会	IVA IVB	輸出入者郵便番号の桁数設定が、IVA業務は9桁で、IVB業務は7桁となっているため、IVA業務で入力した郵便番号が、IVB業務に引き継がれるようにしてほしい。	サブWG(SI・IV)対象	S	

項番	区分1	区分	要望元	業務コード	変更要望内容	検討状況	検討要否	第8回WG委員意見
85	航空海上	通関	東京通関業会	MIC	マニフェスト通関において、事項登録機能がないため、新規業務を導入してほしい。		K	
86	航空海上	通関	JAJA	MIC	マニフェスト通関において、IDA業務と同様に申告内容チェックのため、入力控を出力してほしい。		K	
87	航空海上	通関	JAJA	MID	マニフェスト申告の本申告起動処理を行う際に、MID業務を利用して呼び出しを行わなくても、直接MIC業務から起動できる機能を追加してほしい。	仕様確認後検討可否決定 → <u>項番85,86を実現することにより対応可能</u>	△ K	
88	航空海上	通関	日海貨	MOA	MOA業務の履歴が参照出来ないので、整理番号を入力するとMOA関連業務の履歴が見れるようにしてほしい。	要望内容確認後検討可否決定 海貨業からの要望であるが、WGにて通関の意見を 確認 → <u>特段の意見もないことから検討しないこととする</u>	▲ ×	
89	航空海上	通関	日海貨	MOA	MOA業務に抹消上の整理番号・車体番号を入力する際、以前のNACCSと同様に、入力した順番で登録できるようにしてほしい。	要望内容確認後検討可否決定 海貨業からの要望であるが、WGにて通関の意見を 確認 → <u>特段の意見もないことから検討しないこととする</u>	▲ ×	
90	航空海上	通関	日海貨	MOA	EDA業務と同様、6日間保存できるようにしてほしい。	要望内容確認後検討可否決定 海貨業からの要望であるが、WGにて通関の意見を 確認 → <u>意見はなかったが、申告業務と同様の保存期間とするよう検討する</u>	▲ ○	
91	航空海上	通関	日海貨	MOA	入力後、出力コードSMOAに番号が入らないため、出力したものにMOTSの番号が記載されたものが出力されるようにしてほしい。	要望内容確認後検討可否決定 海貨業からの要望であるが、WGにて通関の意見を 確認 → <u>特段の意見もないことから検討しないこととする</u>	▲ ×	
92	航空海上	通関	日海貨	MOA	MOA業務送信後、輸出自動車情報登録番号が画面上に出ないため、登録番号が画面上に出るようにしてほしい。	要望内容確認後検討可否決定 海貨業からの要望であるが、WGにて通関の意見を 確認 → <u>特段の意見もないことから検討しないこととする</u>	▲ ×	
93	航空海上	通関	事務所個別	MOA	輸出自動車情報登録（MOA）業務の登録後、登録結果情報のような出力情報がほしい。	- <u>事項登録業務→確認業務にて対応</u> → <u>検討しない</u>	長 ×	

項番	区分1	区分	要望元	業務コード	変更要望内容	検討状況	検討要否	第8回WG委員意見
94	航空海上	通関	事務所個別	TTT	TTT業務において入力した輸入者コードに基づいて呼び出した輸入者名を、申請前に画面で確認できるようにしてほしい。	検討しない 申請前に照会業務(IIE)にて確認するか、または荷主にご確認願います。	×	
95	航空海上	通関	事務所個別	UEC	別送品申告(UEC)業務の出力情報コード「AAE2KD0」、「AAE3KD0」、許可書「AAE2FK0」については、自社システム宛2重許可出力コードが設定されていないため、2重出力用出力情報コードを追加してほしい。	検討する	○	
96	航空海上	通関	日海貨	-	検査指定票に、コンテナ番号の表示がない。コンテナ番号を追加で表示してほしい。	検討しない 現行で5本分まで出力している。	×	
97	航空海上	通関	日本貿易会	-	「IS・ISW通関機能のAEO対応機能の新設」 加盟個社が取扱う煙草の輸入に関して、現在IS・ISW通関で対応しているが、現行NACCS上では、IS・ISWによる申告がAEOでの引取申告・納税申告にリンクする機能が備わっていない。そのため、IS・ISWによる申告を行う煙草のAEO輸入取得を検討している社にとっては、大きな障害になっている。IS・ISW通関を実施する機能がAEO通関に対応していないため、1週間に1度大量の煙草が輸入される都度、通関業者がマニュアルでIC通関を実施することになり、コスト、時間を費やすだけでなく、実務面においても大変非効率である。	「IS・ISW通関におけるAEO対応機能の新設」にて検討	K	
98	航空海上	通関	日海貨	新規	「輸出取止再輸入」の申告・許可をシステム化してほしい。	-	K	輸出取止再輸入の申告、許可をシステム化してほしい。 現行マニュアル対応なので是非ともシステム化に。(通関)
99	航空海上	通関	事務所個別	IFA	食品申請関係業務(特にIFA業務)を行った際、配信されるP電文に検疫所が手続を行った時間を入れてほしい。	関係省庁に確認後検討要否を決定	△	
100	航空海上	通関	成田通協	IFA	食品等輸入届出事項登録(IFA)業務の備考欄・輸入申告事項登録(輸入申告)(IDA_AID)業務の記事欄(税関)において、旧システムと同様にENTERボタンで2行目に改行できるようにしてほしい。 (現行では、NACCSの入力データはテキスト形式で構成されており、一行ごとに何の項目かを指定しているため、改行を行うと全ての項目がズレる仕様となっています。)	対応できない	×	

項番	区分1	区分	要望元	業務コード	変更要望内容	検討状況	検討要否	第8回WG委員意見
101	航空海上	通関	日海貨	JTB	呼び出された情報登録画面について、1品目しか入力できないため入力効率が悪いことから、1ライセンスに複数品目の場合は、複数回の登録(入力、送信)ができるように変更してほしい。	関係省庁に確認後検討要否を決定	△	個別E/Lの裏書登録は1品目しか入力できない。 ⇒ 1ライセンスで複数品目は複数回登録できるよう変更を望む。 ⇒ 入力効率が悪いので是非複数回登録できるよう変更を望む。(通関)
102	航空海上	通関	航空WG委員 (通関)	IIE	<u>IIEでの非公開情報の開示要求。</u> <u>申告時に通関業者が確認できないのはなぜか？</u> <u>守秘義務規定を順守するとして登録されているので、開示について検討して頂きたい。</u>	<u>検討しない</u> <u>開示されていない場合は荷主にご確認願います。</u>	×	
103	航空海上	通関	海上WG委員 (通関)	IIE	<u>(現状)</u> <u>現行の「IIE」画面においては社名及び住所が英文のみで表示される。英文表示の場合、「社名」が同一である輸出入者が数多く存在しており、正しい輸出入者を特定するのに時間がかかる。業会員の中には、これまでに英文社名が同一であったために、誤って同名他社で申告してしまったケースがある。(「IIE」の検索の際には住所での確認を行うものの、本社の住所で登録されているケースがほとんどのため、工場や支店からの申告依頼の場合には表示されている住所は参考にならず、社名での確認が中心となる。)</u> <u>(要望内容)</u> <u>「IIE」画面の社名及び住所の表示を英文と和文を併記して、正しい輸出入者名・住所をSpeedyに検索できるようにしてほしい。</u>	<u>輸出入者情報照会 (IIE) の和文表示については、対応方法を今後検討することとしたい。</u>	△	
104	航空海上	通関	海上WG委員 (通関)	MP2	<u>IDA等で荷主の依頼により入力している記事(荷主)欄の内容をリアルタイム口座振替完了通知書に出力して欲しい。</u> <u>(理由)</u> <u>今後専用口座が廃止されれば銀行の領収証書が無くなるため荷主から記事欄の活用が求められる可能性がある。実際に荷主から記事(荷主)欄をリアルタイム口座振替完了通知に反映させてほしいとの要望もある。</u> <u>記事(荷主)欄に荷主指定の任意の番号等を入力することにより書類の整理、保管、通帳とのつき合わせに活用可能となる。</u>	<u>検討する</u>	○	

現行プログラム変更要望一覧（次期NACCS検討用）

2. <<海上>>

項番	区分1	区分	要望元	業務コード	変更要望内容	検討状況	検討要否	第8回WG委員意見
1	海上	貨物	東京通関業会	-	B/L番号の桁数を25桁にしてほしい。	35桁の運用を開始する。	K	
2	海上	貨物	日本貿易会	SIR ACL01	SIR業務のブッキング番号、積載予定船舶コード、積出港コード、航海番号、コンテナ本数の項目が、ACL01業務に継承できるようにしてほしい。	サブWG(SI・IV)対象	S	
3	海上	貨物	事務所個別	TYC	他所蔵置許可期間中においても、同一の貨物管理番号で新たな他所蔵置申請が行えるようにしてほしい。	要望内容確認後検討可否決定 →特段の意見もないことから検討しないこととする	▲ ×	
4	海上	貨物	CY	-	空バン（空コンテナ）のトランシップ処理対応が、現状マニュアルで行っているため、NACCSで処理が出来るようにしてほしい。	サブWG(入出港)対象	S	
5	海上	貨物	日海貨	ACL01	バンニング情報の登録の際に入力している項目（バンニング個数、荷姿、重量、容積）についても同様に補完してほしい。	サブWG(ACL)対象	S	
6	海上	貨物	外国船舶協会	ACL01	船会社が発行するMaster B/LNO.を記載出来る欄を増やしてほしい。	サブWG(ACL)対象	S	
7	海上	貨物	外国船舶協会	ACL01	着荷通知先住所電話番号・荷受人住所電話番号の欄は105桁であるため、50桁増やしてほしい。	サブWG(ACL)対象	S	
8	海上	貨物	日海貨	ACL01	荷姿コード"PP"の明細が「PALLET&PACKAGE」と表示されるため、「PALLET」と表示してほしい。	サブWG(ACL)対象	S	
9	海上	貨物	日海貨	ACL01	SHIPPER,CONSIGNEE,NOTIFYの名前、住所が分かるため、当該欄についてまとめて出力するようにしてほしい。	サブWG(ACL)対象	S	
10	海上	貨物	日海貨	ACL01	「運賃協定払い」欄等項目が無い所に表示されるものがあるため、項目を出力してほしい。	サブWG(ACL)対象	S	
11	海上	貨物	日海貨	ACL01	個数・グロス重量・容積が2ヶ所あるので1ヶ所にしてほしい。	サブWG(ACL)対象	S	

項番	区分1	区分	要望元	業務コード	変更要望内容	検討状況	検討要否	第8回WG委員意見
12	海上	貨物	日海貨	ACL01	ケースマークについて、5行目で改頁するため、15行目まで増やしてほしい。	サブWG(ACL)対象	S	
13	海上	貨物	日海貨	ACL01	共通部2のグロス重量について桁数を13桁にしてほしい。	サブWG(ACL)対象	S	
14	海上	貨物	日海貨	ACL01	BOOKING番号を複数欄設けてほしい。	サブWG(ACL)対象	S	
15	海上	貨物	日海貨	ACL01	シール番号欄を4欄にしてほしい。	サブWG(ACL)対象	S	
16	海上	貨物	日海貨	ACL01	MARKの幅を増やしてほしい。	サブWG(ACL)対象	S	
17	海上	貨物	日海貨	ACL01	内個数を10個くらいに増やしてほしい。	サブWG(ACL)対象	S	
18	海上	貨物	日海貨	ACL01	SHIPPER CONSIGNEE, NOTIFY PARTY欄についてスペースを増やしてほしい。	サブWG(ACL)対象	S	
19	海上	貨物	日海貨	ACL01	項目内で改行を行う際、スペースキーを利用しているが、入力時間を短縮するためENTERキーでの改行ができるようにしてほしい。	サブWG(ACL)対象	S	
20	海上	貨物	日海貨	ACL01	複数のACLデータは代表1件目のみに総件数を通知するようにしてほしい。	サブWG(ACL)対象	S	
21	海上	貨物	事務所個別	ACL01	船積確認事項登録(コンテナ船用)(ACL01)業務の重量欄について重量単位を「KG」入力する欄の入力桁数(整数部6桁)を増やしてほしい。	サブWG(ACL)対象	S	
22	海上	貨物	事務所個別	ACL01	バンニング情報登録前に仮登録したACL情報について、バンニング情報登録後に呼出しを行うと、「個数」、「荷姿」、「グロス重量」等のコンテナ情報が補完されないため、これらの情報を補完するようにしてほしい。	サブWG(ACL)対象	S	

項番	区分1	区分	要望元	業務コード	変更要望内容	検討状況	検討要否	第8回WG委員意見
23	海上	貨物	事務所個別	ACL01	船積確認事項登録（ACL）業務におけるカスタマイズ帳票は、共通項目の部分とコンテナ情報等の部分では、テンプレートを1ページに集約することもできない。また、コンテナ情報のページにブッキング番号等のキー項目を表示することができないため、カスタマイズ帳票のテンプレートを1つにまとめてほしい。	サブWG(ACL)対象	S	
24	海上	貨物	事務所個別	ACL03 ACL04	船積確認事項登録（ACL03、ACL04）業務について、荷送人、荷受人、着荷通知先、記号番号及びシール番号欄の入力項目の文字数、桁数を増やし、入力欄についても追加してほしい。 また、ACL03、04では、輸出申告番号からの情報呼び出しやCY・CFS欄の通知等、ACL01、02にある機能が無くなっているため、機能を追加してほしい。	サブWG(ACL)対象	S	
25	海上	貨物	東京保税会	BIA	BIAの業務において、AIR-NACCSとのデータの互換性を持たせてほしい。	検討しない (航空、海上分離の原則)	×	
26	海上	貨物	東京保税会	BIA	記事欄の入力可能文字数を増やしてほしい。	検討する ヒアリング実施（どの程度の桁数を希望するのか）	● ▲	
27	海上	貨物	日海貨	BIA	全ての入力項目について表示、非表示が出来るようにしてほしい。また、入力内容が次項目に反映できるようにしてほしい。	検討しない	×	
28	海上	貨物	日海貨	BIC BOC	搬出入日について、未来日が入力された場合、ワーニングメッセージが表示されるようにしてほしい。	仕様確認後検討可否決定 →BIC業務は未来日の入力が不可。BOC業務はチェックなし。 ⇒BOC業務において未来日を入力した場合はワーニングとする。	△ ○	
29	海上	貨物	事務所個別	CCL	①船積確認登録（CCL）業務を実施する本船に係る輸出申告において、要船積確認の旨登録されているデータが存在する場合は、船会社又は船舶代理店以外がCCL業務を登録できないようにしてほしい。（CCL業務は、一船ごとの登録であり、誤って他の業種で行われてしまうと、多数の申告者に船積確認通知情報の出力不可の影響が及んでしまいます。）	要望内容確認後検討可否決定 (利用業種について制度面の確認) →特段の意見もないことから検討しないこととする	▲ ×	

項番	区分1	区分	要望元	業務コード	変更要望内容	検討状況	検討要否	第8回WG委員意見
30	海上	貨物	日海貨	CMF02	トランシップでない揚コンテナの貨物情報は、船会社が税関に積荷目録提出を行った際に、ターミナル側にデータが送信されてくるが、トランシップ情報は一切送信されてこない。マニフェストデータの追加・訂正情報を、ターミナル側が受信出来るようにしてほしい。	サブWG(入出港)対象	S	
31	海上	貨物	事務所個別	CMF03	積荷目録提出 (DMF) 業務実施後、船積情報登録 (CLR) 業務実施前の間に、次港において積荷目録情報訂正 (次船卸港の追加) (CMF03) 業務が実施できるようにしてほしい。	サブWG(入出港)対象	S	
32	海上	貨物	事務所個別	CMF03	船卸確認登録 (PKK/PKI) 業務前に、前港において次港の積荷目録情報訂正 (次船卸港の追加) (CMF03) 業務が実施できるようにしてほしい。	サブWG(入出港)対象	S	
33	海上	貨物	事務所個別	CMF03	CY搬出確認登録 (CYO) 業務後に、前港において次港の積荷目録情報訂正 (次船卸港の追加) (CMF03) 業務が実施できるようにしてほしい。	サブWG(入出港)対象	S	
34	海上	貨物	事務所個別	CMF03	積荷目録情報登録 (MFR) 業務について、船積情報登録 (CLR) 業務前であっても、仮陸揚運送兼用の貨物がある場合に、次港の積荷目録情報訂正 (次船卸港の追加) (CMF03) 業務が実施できるようにしてほしい。	サブWG(入出港)対象	S	
35	海上	貨物	CY	CYA	複数コンテナを有する貨物情報について、一部のコンテナがCY搬入確認登録 (CYA) により搬入処理された場合には、変更等の処理が出来なくなるため、輸入コンテナにおいてCYA (搬入) のキャンセルが出来るようにしてほしい。	要望内容確認後検討可否決定 →特段の意見もないことから検討しないこととする	▲ ×	
36	海上	貨物	事務所個別	CYO	複数B/Lに係る貨物を内蔵したコンテナについて、うち1件のB/Lに係る貨物が検査扱いで輸入未許可、残りは輸入許可済み貨物である場合、当該コンテナのCYO(K:搬出)業務を実施した際には、エラーとならないようにしてほしい。	要望内容確認後検討可否決定 →特段の意見もないことから検討しないこととする	▲ ×	
37	海上	貨物	事務所個別	DMF	マニフェスト情報の登録可能日を、10日から30日程度前にしてほしい。	サブWG(入出港)対象	S	

項番	区分1	区分	要望元	業務コード	変更要望内容	検討状況	検討要否	第8回WG委員意見
38	海上	貨物	船舶代理店協会	DMF	マニフェスト情報の保存期間について、DMF業務を利用して登録した入港年月日から6日となっているため、これを10日としてほしい。	サブWG(入出港)対象	S	
39	海上	貨物	事務所個別	DOR	「輸入許可情報」が許可後6日で削除され、その後のDOR業務がエラーとなるため、輸入許可情報の保存期間の延長してほしい。	システム制限値（DB保存期間）と併せて検討する	○	
40	海上	貨物	外国船舶協会	DOR	DORもしくはICGにてD/OID送信後に通知先の利用者コード、日時が履歴として表示されるようにしてほしい。	要望内容確認後検討可否決定 →特段の意見もないことから検討しないこととする	▲ ×	
41	海上	貨物	日海貨	ECR	ECR業務で取得した情報を何度か訂正する場合、プリントアウトに出力順を示す情報がないため、最新情報が不明になることから、プリントアウトの際、出力日時を出力してほしい。	検討しない 印刷日時であれば出力可能	×	
42	海上	貨物	日海貨	ECR	個数・グロス重量・容積が2ヶ所あるため、1ヶ所にしてほしい。	検討しない (搬入先が複数あるケースで利用しているため2ヶ所必要)	×	
43	海上	貨物	事務所個別	ECR	①通関業者が輸出貨物情報登録（ECR）業務で登録する総個数、総重量、総容積と搬入予定先に入力する数量が合数でない場合はエラーになるか、もしくは注意喚起のメッセージ等が出るようになると、CYでの輸出許可対査の際に確実な確認ができるので変更してほしい。	検討しない	×	
44	海上	貨物	事務所個別	IAL	②船積情報照会（IAL）業務の照会結果に、ACL01、02業務の送信履歴を出力してほしい。	サブWG(ACL)対象	S	
45	海上	貨物	事務所個別	IAL	船積情報照会（IAL）業務による照会結果に、通知先コード1、2が表示されないの、出力してほしい。また、ACL仮登録でも照会が可能となるようにし、仮登録状態か本登録状態か、取り消し状態かを区別できるようにしてほしい。	サブWG(ACL)対象	S	
46	海上	貨物	東京通関業会	ICG	ICG業務にて出力すると、コンテナ番号のみ2枚目に出力されるため、コンテナ番号も、1枚目に出力してほしい。	検討する WGにて要望内容詳細確認	● ×	

項番	区分1	区分	要望元	業務コード	変更要望内容	検討状況	検討要否	第8回WG委員意見
47	海上	貨物	日海貨	ICG	①ある貨物管理番号に対し全体情報（TTL）を取得する際、その都度貨物管理番号と指定情報を入力する必要があるため、一度入力した番号について1クリックで情報を再取得できるようにしてほしい。 ②また、現行は概要情報（SMR）がデフォルトになっているが、全体情報（TTL）の利用が殆どであるため、全体情報（TTL）をデフォルトになるよう変更してほしい。	①検討しない ②検討する WGにて要望内容詳細確認	● ○	
48	海上	貨物	日海貨	ICG	コンテナ番号と貨物管理番号の突合作業を行うため、ICG業務の照会画面を印刷した場合にコンテナ番号と貨物管理番号を紙1枚で出力してほしい。若しくは2枚目の上部に貨物管理番号を入れてコンテナ番号と照らし合わせて見れるようにしてほしい。	検討する WGにて要望内容詳細確認	● ×	
49	海上	貨物	事務所個別	ICG	輸出申告を行う際、当該貨物状況表示について、全てのコンテナが搬入されたときにBNDを表示するか、若しくは全量搬入済みを表すコードを追加してほしい。	検討しない 分散蔵置を認めており、BNDがどこであるかシステム上判断できないため	×	
50	海上	貨物	日海貨	IFR	IFR業務を廃止し、VAN業務毎にICG業務でフリータイム表示に統一してほしい。	検討しない IFRを利用している社が存在するため 仕様確認：IFRとICGで表示されるF/Tに差異はないか	×	
51	海上	貨物	日本船主協会	IMI	積荷目録状況照会において照会区分「K」（B/L番号一覧(仮陸揚)照会)で照会した場合、B/L件数を確認することができないため表示できるようにしてほしい。	要望内容確認後検討可否決定 仕様確認中⇒システム上不可 →特段の意見もないことから検討しないこととする	▲ ×	
52	海上	貨物	事務所個別	IMI	②積荷目録状況照会（IMI）業務で「コンテナサイズ/タイプ」ごとの本数を表示して欲しい。	要望内容確認後検討可否決定 仕様確認中⇒システム上不可 →特段の意見もないことから検討しないこととする	▲ ×	
53	海上	貨物	日海貨	NVC01	前の入力項目を反映できるようにしてほしい。	検討しない	×	

項番	区分1	区分	要望元	業務コード	変更要望内容	検討状況	検討要否	第8回WG委員意見
54	海上	貨物	事務所個別	PID	「入港年月日」欄とVIX等の着岸予定年月日とに違いがある場合は、ワーニングメッセージを出力してほしい。	サブWG(入出港)対象	S	
55	海上	貨物	事務所個別	PID	本船入港年月日欄の入力ミスを防ぐために、入港年月日欄にあらかじめ「処理年月日」がデフォルトで表示されるようにしてほしい。	サブWG(入出港)対象	S	
56	海上	貨物	CY	PID	到着確認登録(PID)業務入力時に、本船入港日欄を誤って登録する事例が多く、後続に与える影響が大きいため、次の仕様変更をしてほしい。 ①入港日欄に予めデフォルト値として「処理年月日」を表示してほしい。	サブWG(入出港)対象	S	
57	海上	貨物	CY	PID	②代理店業務(VIX等)での着岸日時と相違がある場合、ワーニングメッセージを表示できるようにしてほしい。	サブWG(入出港)対象	S	
58	海上	貨物	事務所個別	PKI PKK	③船卸確認登録(個別)(PKK)、船卸確認登録(一括)(PKI)業務で卸リストコンテナ通知にVOY(航海番号)を表示させてほしい。	サブWG(入出港)対象	S	
59	海上	貨物	事務所個別	PKI PKK	船卸確認登録(個別)(PKK)及び船卸確認登録(一括)(PKI)業務において、積荷目録提出(DMF)業務で登録された入港日とPKK・PKI登録時にチェックを行い、入港日より過去の日付であった場合はエラーとなるようにしてほしい。	サブWG(入出港)対象	S	
60	海上	貨物	東京通関業会	RSS01	複数コンテナのうち1本のコンテナを搬出する際、コンテナを指定してそれぞれ個別に送信しているため、コンテナ番号の前に「チェック欄」を新設し、任意に選択できるようにしてまとめて送信できるようにしてほしい。	検討する WGにて要望内容詳細確認 ⇒ <u>輸入コンテナ引取予定情報通知(ID通知)呼出し</u> <u>(RSS11)業務において選択可能</u>	● ×	

項番	区分1	区分	要望元	業務コード	変更要望内容	検討状況	検討要否	第8回WG委員意見
61	海上	貨物	東京通関業会	RSS01	搬出先名、引取業者名、連絡先欄についてローマ字入力となっているため、日本語表記を可能してほしい。	検討する WGにて要望内容詳細確認 その他、日本語入力可能要望について全体的に検討	● ▲	
62	海上	貨物	東京通関業会	RSS01	B/L仕分け後は、RSS01業務ができないことから、登録出来るようにしてほしい。	検討する	K	
63	海上	貨物	東京通関業会	RSS01	間違ったCYコードを入力しても送信されてしまうため、B/L番号、コンテナ番号などからCYコードとの相違がある場合は、メッセージ等でガードをかけてほしい。	検討する 仕様確認中（実現可能か） → <u>蔵置されているCYまたはMFRで入力されたコンテナオペレーション会社とのチェックは可能</u> → <u>差異がある場合はワーニングとする</u>	△ ○	
64	海上	貨物	東京通関業会	RSS01	登録時に間違って別の搬出先を入力してしまうと、データは再送信できないため、搬入されている蔵置場所と異なる場合にはエラーを出力してほしい。	検討する 仕様確認中（実現可能か） → <u>システムの的に不可</u>	△ ×	
65	海上	貨物	東京通関業会	RSS01	通知先を間違えたとき、エラーで知らせてほしい。	要望内容確認後検討可否決定 システム上誤りを判断するのは困難	K	
66	海上	貨物	日海貨	SAI	前の入力項目を反映できるようにしてほしい。	検討しない	×	
67	海上	貨物	事務所個別	SHN SHS	貨物取扱登録（内容点検）（SHN）業務について、入力控が出力されるようにしてほしい。また全ての貨物取扱登録の保存期間を拡大してほしい。（3日では少なすぎる。）	要望内容確認後検討可否決定 検討する場合事項登録業務を新設か、照会業務で対応とするのか → <u>特段の意見もないことから検討しないこととする</u>	▲ ×	
68	海上	貨物	日本貿易会	SIR	申告予定者と海貨業者が同一法人の場合は、船積指図書(S/I)情報登録（SIR）業務の申告予定者が、船積確認事項登録（ACL）業務の海貨業者コードに自動的にセットされる機能を追加してほしい。	サブWG(SI・IV)対象	S	
69	海上	貨物	日本貿易会	SIR EIR	NACCSと船社のシステムとを連携させて、船社の入力するブッキング情報、SCACコード等の各種コードを利活用できるようにしてほしい。	サブWG(SI・IV)対象	S	

項番	区分1	区分	要望元	業務コード	変更要望内容	検討状況	検討要否	第8回WG委員意見
70	海上	貨物	日本貿易会	SIR EIR	荷主としてACL業務の情報だけではなく、B/L情報も入手できるようにしてほしい。	サブWG(SI・IV)対象	S	
71	海上	貨物	日本貿易会	SIR IVA	同一船積の船積指図書(S/I)情報登録(SIR)業務と、インボイス・パッキングリスト情報登録(IVA)業務を関連づける仕組みがほしい。	サブWG(SI・IV)対象	S	
72	海上	貨物	事務所個別	VAC	保税蔵置場での輸出許可後のバンニング情報登録で、コンテナ番号を誤って登録した場合、誤ったほうのコンテナが輸出許可前に既にCYに搬入(CYA)されていると、システム上「CYで申告した」と判断されることから、VAC(バンニング情報取消し)業務で取り消しすることができないため、取り消しが可能となるようにしてほしい。	検討しない	×	
73	海上	貨物	日海貨	VAE	1申告複数本あるのに誤って1本で入力、送信してしまう場合があるため、総本数欄を設定し、BOOKING本数と合わない場合はワーニングメッセージを出力するようにしてほしい。	検討しない	×	
74	海上	貨物	日海貨	VAE VAC CYA CYC	CYでの輸出許可後も、輸出申告撤回ではなく、誤って入力したコンテナ番号の訂正(またはコンテナ番号の付け替え)が出来るようにしてほしい。	検討しない 訂正は税関として認められない	×	
75	海上	貨物	日海貨	VAN	船会社コードを誤って送信した場合に、VAD業務で訂正が出来るようにしてほしい。	税関確認中 船会社コードの入力の必要性 仕様確認中	△	
76	海上	貨物	事務所個別	VAN VAE	①バンニング情報登録(VAN・VAE)業務において、未来日の搬出日時が入力可能となっているが、搬入日より後の搬出日の入力は不可とする仕様に変更してほしい。 ②また、VAN・VAE業務において、ISOコンテナ番号チェックがあるが、誤って12桁を入力した場合、チェックがされない仕様のため、桁数誤りでもチェックがされるようにしてほしい。およびVAH業務でもコンテナ番号チェック機能を付けてほしい。	①検討しない ②仕様確認中 →先頭4桁がアルファベットの場合のみチェックを行っている。VAHはチェックを行っていない。 VAN・VAEは、ISOコンテナ番号(先頭4桁が英字)が対象となっており、『コンテナ番号(11桁)=英字(4桁)+数値(6桁)+チェックデジット(1桁)』でチェックしている。 よって先頭4桁が英字であっても、コンテナ番号を誤って12桁入力した場合は、チェックがされない。	△ ○	

項番	区分1	区分	要望元	業務コード	変更要望内容	検討状況	検討要否	第8回WG委員意見
77	海上	貨物	事務所個別	IML	IML業務でマスターB/L単位、あるいはハウスB/L単位での登録済み件数の表示が出るような修正をしてほしい。 また、IML業務での修正が無理ならば別の業務での修正でもよい。 (要望理由) AMRの登録漏れが防げる。またMFR前にもAMR登録件数を確認できることによりAMR登録者へのデータ修正等の要請もしやすくなり、税関に対してより正確な貨物情報の提供が	サブWG(AFR)にて検討	S	
78	海上	貨物	企画部個別	複数	「G01 輸入貨物搬出入データ」及び「G02 輸出貨物搬出入データ」の「搬入日」及び「搬出日」の入力業務において、データ入力日以外の「過去日」又は「未来日」を入力した場合にワーニングを出力してほしい。	検討しない	×	
79	海上	貨物	日海貨	新規	ペーパーレスを目的として、「危険品事前連絡表」、「コンテナ危険物明細書」の船会社送付業務をシステム化してほしい。	危険物明細書の提出業務で検討	K	
80	海上	貨物	日本貿易会	SIR IVA	SIR業務とIVA業務で共通する項目の桁数を揃えてほしい。	サブWG(SI・IV)対象	S	
81	海上	貨物	JIFFA	ACL01	荷送人等の名称、住所電話番号欄の改行が35桁であり、JIFFA標準では48桁(10pt)改行ため、名称欄のずれが生じてしまう。改行桁数について検討を行ってほしい。		S	
82	海上	貨物	JIFFA	ACL01	FAX番号(任意項目 3欄)の運用をやめてほしい。 (要望理由) 海貨業者が船会社に直接ACL情報を海貨FAX番号を入れて送信した場合、運賃情報が本来受け取るべきNVOCC以外の社に漏れてしまうため。		S	
83	海上	貨物	JIFFA	ACL01	ACL情報を受け取る側の保税蔵置場で、通知先コードを誤って本来の搬入先でない蔵置場に送信される場合があるため、チェック機能を設けるか誤送信先が誤送信であることを知らせるような仕組みを作ってほしい。 (要望理由) 誤って送信されると、実際の貨物と情報が一致していない状況が放置される状態となるため。		S	

項番	区分1	区分	要望元	業務コード	変更要望内容	検討状況	検討要否	第8回WG委員意見
84	海上	貨物	JIFFA	ACL01	JETRASのライセンス取得有無がわかるような欄を設けてほしい。 (要望理由) 香港で船卸の際にライセンスの確認が必要であるが、輸出許可書には記載があるがNVOCCには分からないため危険品同様に欄を設けてほしい。		S	
85	海上	貨物	事務所個別	ACL01	繰返部のコンテナ情報にフラットラックコンテナのオーバーワイド、オーバーハイトの欄を設けてほしい。 (要望理由) 現状欄がないため記事欄に入力している。フラットラックが複数本のときに桁数が不足する場合があるため。		S	
86	海上	貨物	事務所個別	ACL01	禁止文字「_(アンダーバー)」を使用可能としてほしい。 (要望理由) メールアドレスの入力を希望する荷主が近年増えており、「_」が含まれている場合アタッチにする必要がある。		S	
87	海上	貨物	事務所個別	ACL01	船舶コード(コールサイン)を入力した場合にリアルタイムで船舶名称が確認できないか。 (要望理由) キー項目であるため訂正が出来ず、再送信となり手間であるため。		S	
88	海上	貨物	JIFFA	ACL02	繰返部に車台番号、エンジン番号以外に実務上シャーシごとのLWHが必要なので、入力欄を設けてほしい。 (要望理由) 現状Excelで別途LWHの情報を送ってもらう必要がある。		S	
89	海上	貨物	JIFFA	ACL12	数量の合計はできるが、品名と記号番号の合計が出来ず中途半端で現状使用している社がない。コンテナマニフェストのような情報にまとめられるようにしてほしい。		S	
90	海上	貨物	JIFFA	ACL12	FCLの数量や品名はそのままに荷送人等情報だけM B/L情報に書き換えて送信できる機能を検討してほしい。 (要望理由) FCLの貨物をNVOCCで扱う機会が増えており、ACL12で送信する機能があればよい。		S	

項番	区分1	区分	要望元	業務コード	変更要望内容	検討状況	検討要否	第8回WG委員意見
91	海上	管理資料	事務所個別	その他	保税検査の際に月別の件数報告を要求されるため、保税関係管理資料である「貨物取扱等一覧データ(週報)」、「輸入貨物コンテナ関連データ(週報)」等の週報で出力される月累計を「貨物取扱等実績データ(月報)等の月報にも出力してほしい。	検討しない 新情報提供サービスでの対応を検討	×	
92	海上	管理資料	事務所個別	その他	管理資料情報「G03」保税運送申告一覧データは出力先にCYが含まれていない。 「G03」保税運送申告一覧データをCYでも受信/使用できるようにしてほしい。 (要望理由) CYにおいても保税運送申告を行うが、現状、件数等の照合作業は手作業でしか行えない。 同管理資料を使用することで、照合作業の効率化に繋がる。	検討する	○	
93	海上	管理資料	事務所個別	その他	Sea-NACCSの管理資料(口座使用明細データ:CBF7620)には、社内整理番号が出力されるが、Air-NACCSにおいては「AWB番号」欄と「社内整理番号」欄が一緒の項目になっているため、AWB番号が出力されると、社内整理番号が出力されない仕様のため、項目を分けて両方出力してほしい。	検討する	○	
94	海上	通関	東京通関業会	MHA	持出先欄を日本語表記可能としてほしい。	検討する その他、日本語入力可能要望について全体的に検討	○	
95	海上	通関	事務所個別	MHA	①見本持出許可申請(MHA)業務について、入力控が出力されるようにしてほしい。 ②また、見本持出許可申請の保存期間を拡大してほしい。(3日では少なすぎる。)	①要望内容確認後検討可否決定 事項登録業務を必要とするか ②現行システムで対応済 →特段の意見もないことから検討しないこととする	▲ ×	
96	海上	通関	日海貨	OLC	輸入申告後の保税運送が出来るようにしてほしい。	要望内容確認後検討可否決定 参考:NACCS掲示板 よくある問い合わせ 一部コンテナの大型X線検査対応について 本要望がどのパターンに当てはまるのか確認 →特段の意見もないことから検討しないこととする	▲ ×	

項番	区分1	区分	要望元	業務コード	変更要望内容	検討状況	検討要否	第8回WG委員意見
97	海上	通関	東京通関業会	OLC	保税運送に係るX線検査の際、検査通知書等が出力されないことから、検査通知書か承認書に検査である旨の記載がほしい。	検討しない	×	
98	海上	通関	日海貨	OLC	OLC業務において入力控を出力してほしい。		K	
99	海上	通関	CY	OLC	包括保税運送業務において、タイミングにより、申告は承認期間内に処理されても、実際の搬出が承認期間外となる場合があるため、包括保税運送業務を実施する際に、承認期限の10日前から、期限が近づいている旨のワーニングメッセージを表示してほしい。	検討しない	×	
100	海上	通関	CY	OLC	仮陸揚貨物の保税運送(市内運送)の場合、価格の入力が必須項目になっているため、一般の保税運送(市内運送)と同様に、価格の入力を任意項目にしてほしい。	税関(関税局)確認中	○	
101	海上	通関	日海貨	OLC	保税運送申告(OLC)業務について、入力後に送信すると、直ちに税関申告となってしまうため、送信後に入力控を出力して、それを確認後に税関に送信される仕様にしてほしい。	関係省庁で、引き続き検討中です。	K	
102	海上	通関	日海貨	OLC	仮陸揚貨物を仮陸揚届(運送兼用)にて保税蔵置場へ搬入することが出来るようにしてほしい。	仕様確認中 →現状不可 ⇒必要性が認められないことから検討しない	△ ×	
103	海上	通関	日海貨	OLC	保税蔵置場から本船に向けてOLC業務が可能になる様に対応してほしい。	仕様確認中 →現状不可 ⇒必要性が認められないことから検討しない	△ ×	
104	海上	通関	東京通関業会	-	羽田空港国際線就航に伴い、東京港保税蔵置場での機用品蔵置需要が高まるため、海上システムにおいても各種機用品業務が出来るようにしてほしい。	機用品蔵入承認申請業務の海上貨物への拡大で検討	K	
105	海上	通関	船舶代理店協会	HFC	HFC業務の事項登録業務を作成してほしい。	事項登録業務・確認業務・呼出し業務の新設で対応	K	

項番	区分1	区分	要望元	業務コード	変更要望内容	検討状況	検討要否	第8回WG委員意見
106	海上	入出港	事務所個別	CPC	①不開港出入港申請（CPC）業務において、送信前に確認画面等において入力内容を確認できるようにしてほしい。	サブWG(入出港)対象	S	
107	海上	入出港	事務所個別	CPC	②純トン数と船舶DBに相違がある場合は、エラー（送信しない）としてほしい。	サブWG(入出港)対象	S	
108	海上	入出港	船舶代理店協会	CRW03	ショアパスの発給日の記入欄が無いいため、記入する欄を設けてほしい。	関係省庁に確認後検討可否決定	S	
109	海上	入出港	船舶代理店協会	CRW03	①VPT業務で乗員情報を入力後、CRW01業務で情報を呼び出し、CRW03業務をする際に、VPT業務にて備考欄に入力した「身分証明書有効期限」が反映されないため、VPT業務で乗員情報を入力する際に「身分証明書有効期限」欄を設けて、CRW03業務で反映させ、CRW03業務で入力する項目を極力減らす。	関係省庁に確認後検討可否決定	S	
110	海上	入出港	船舶代理店協会	CRW03	乗員上陸許可申請(CRW03) 業務画面について、CRW01業務で呼び出しているのにも関わらず、船舶運航者コード・船舶運航者名・船舶代理店電話番号を入力しなければならないため、これらの項目を呼び出してほしい。	関係省庁で、引き続き検討中です。	S	
111	海上	入出港	日本船主協会	IVD	入出港日別照会において照会できる日がシステム年月日≦入出港(予定)年月日となっており、過去(確定情報)の照会ができないため、照会できる範囲を過去(10日程度前)まで遡って照会可能としてほしい。	過去情報に対する入出港日別一覧照会の可能化 にて検討	S	
112	海上	入出港	事務所個別	IVS	「A1:船舶運航情報照会」では、照会時点での本邦寄港地順序は照会できるが、運航情報の登録、訂正履歴が出力されないため、IVS業務の「A1」にて、登録・変更の日時、利用者コードが出力されるようにしてほしい。	船舶運航情報の更新履歴の照会可能化 にて検討	S	
113	海上	入出港	船舶代理店協会	JPT	入出港関係業務に係る申請内容と許可内容を1枚で出力してほしい。	検討しない	S	
114	海上	入出港	船舶代理店協会	JPT VPT VPX	危険物荷役許可書、停泊場所指定願、係留施設使用届等について、申請者に対しても関係官庁に出力されているものと同様の申請内容が記載された許可情報を自動出力してほしい。	入出港関連手続きにおける呼び出し機能の充実 にて検討	S	

項番	区分1	区分	要望元	業務コード	変更要望内容	検討状況	検討要否	第8回WG委員意見
115	海上	入出港	船舶代理店協会	TPC	申請等を行わなければ、船舶運航者は申告者として認められないにも関わらず、TPC業務の船舶運航者の欄は必須入力になっていないため、事前申請を行わなくてもそのまま税関に対して送信できてしまう。 ②船舶運航者コードを入力した際に「事前申請が必要である」旨のワーニング表示が出るようにしてほしい。	税関確認中	△	
116	海上	入出港	船舶代理店協会	TPC	申請等を行わなければ、船舶運航者は申告者として認められないにも関わらず、TPC業務の船舶運航者の欄は必須入力になっていないため、事前申請を行わなくてもそのまま税関に対して送信できてしまう。 ③TPC業務画面で事前申請の有無を入力できる欄を追加し、事前申請をしていない状況で船舶運航者コードを入力した際にエラー表示が出るようにしてほしい。	税関確認中	△	
117	海上	入出港	船舶代理店協会	VBY	船舶基本情報の登録内容の変更について、他の港の代理店が入港前統一申請や入出港業務を行っていないか確認メッセージを表示してほしい。	サブWG(入出港)対象	S	
118	海上	入出港	事務所個別	VBY11	出港（出港許可）が完了するまで、他の利用者により船舶基本情報の訂正や削除ができないようにしてほしい。	検討しない	S	
119	海上	入出港	事務所個別	VIT	②入港届B（VIT）業務の入港前外国の寄港地の入出港年月日について、未来の日付はエラーを表示してほしい。	サブWG(入出港)対象	S	
120	海上	入出港	事務所個別	VIT	③入港届B（VIT）業務の当港入港前本邦寄港地の入出港年月日について、未来の日付はエラーを表示してほしい。	サブWG(入出港)対象	S	
121	海上	入出港	事務所個別	VIT	④入港届B（VIT）業務の入港港情報のびょう泊日時・着岸日時について、未来の日付はエラーを表示してほしい。	サブWG(入出港)対象	S	
122	海上	入出港	事務所個別	VIT	⑤入港届B（VIT）業務の入港港情報の離岸日時について、過去の日付はエラーを表示してほしい。	サブWG(入出港)対象	S	
123	海上	入出港	船舶代理店協会	VIT VOT	入港届のデータを利用して、出港届を提出できるようにしてほしい。	サブWG(入出港)対象	S	

項番	区分1	区分	要望元	業務コード	変更要望内容	検討状況	検討要否	第8回WG委員意見
124	海上	入出港	事務所個別	VIX VIT	入港届（VIX、VIT）業務の訂正、取消をした場合に、入港届（転锚届）訂正・取消情報を出力してほしい。 また出港届においても、訂正情報が出力されるようにしてほしい。	サブWG(入出港)対象 要望内容詳細を確認	S	
125	海上	入出港	事務所個別	VIX VOX	VTX01（船舶運航情報登録）業務、及びVPX（入港前統一申請）業務の段階で、外航バースでないのであれば、その時点でエラーが出力されるようにしてほしい。	サブWG(入出港)対象	S	
126	海上	入出港	事務所個別	VOT	⑥出港届B（VOT）業務の本邦入港前外国の寄港地の入出港年月日について、未来の日付はエラーを表示してほしい。	サブWG(入出港)対象	S	
127	海上	入出港	事務所個別	VOT	⑦出港届B（VOT）業務の当港入港前本邦寄港地の入出港年月日について、未来の日付はエラーを表示してほしい。	サブWG(入出港)対象	S	
128	海上	入出港	事務所個別	VOT	⑧出港届B（VOT）業務の出港港情報の離岸日時について、過去の日付及び入力日から起算して10日以上経過する日はエラーを表示してほしい。	サブWG(入出港)対象	S	
129	海上	入出港	事務所個別	VOT	⑨出港届B（VOT）業務の送信時に「入港届提出番号が入力されていないが、問題無いか。」という旨のワーニングを表示してほしい。	サブWG(入出港)対象	S	
130	海上	入出港	事務所個別	VPT	保証契約書番号が22桁で入力できなかった。保証契約書番号が21桁以上の船舶のシステム利用を担保してほしい。 今回は、地方運輸局に相談し今回限りで名称欄を使用することにより対応してもらった。地方運輸局に保証契約書番号が21桁以上の場合について相談したところ、地方運輸局は港湾EDIでNACCSの画面はわからないので、NACCSに相談するよう言われた。 今後、21桁以上の保証契約書番号が増えることから、桁数の変更ができなくても、運用で対応できるよう地方運輸局と調整してほしい。	サブWG(入出港)対象	S	
131	海上	入出港	事務所個別	VPT	乗組員・旅客情報事前報告（税関）に「出港予定日時」項目を追加するか、「備考欄」を項目追加してほしい。	検討しない	S	

項番	区分1	区分	要望元	業務コード	変更要望内容	検討状況	検討要否	第8回WG委員意見
132	海上	入出港	船舶代理店協会	VPT	VPT業務での入国管理局への申請で、乗組員情報の提出方法を「システム」と「マニュアル」から選択できるが、入国管理局は「マニュアル」処理でのシステム業務を受け付けないため、入国管理局で受け付けるようにするか、入国管理局に対する「マニュアル」の選択ができないようにしてほしい。	サブWG(入出港)対象	S	
133	海上	入出港	船舶代理店協会	VPT	VPT業務でシステム入力できる乗員数の上限が500名である一方、CRW業務での乗員数の上限は1500名となっているため、VPT業務及びCRW03業務での乗員数の制限を無くしてほしい。	サブWG(入出港)対象 要望内容詳細を確認	S	
134	海上	入出港	事務所個別	VPT	①入港前統一申請B(VPT)業務のびょう泊日時、着岸日時、離岸日時について、過去の日付はエラーを表示してほしい。	サブWG(入出港)対象	S	
135	海上	入出港	船舶代理店協会	VPT VIT	VPT業務の事前通報やVIT業務の外国寄港地、国内寄港地の欄を、別では無く、国内、国外統一にしてほしい。	サブWG(入出港)対象 要望内容詳細を確認	S	
136	海上	入出港	日本船主協会	VPX VPT VIX VIT VOX VOT	入出港業務において申請後に訂正を行う場合、税関は訂正を認めているが、入国管理局は新規で申請を行う必要があるため、各官庁における訂正方法を統一してほしい。	サブWG(入出港)対象 要望内容詳細を確認	S	
137	海上	入出港	日本船主協会	VTX01	スケジュール変更(ローテーション変更)により寄港順序が入れ替わるが、その場合入替作業(転記等)が必要となり時間を要す。また、転記によるミスに繋がる可能性があるため、寄港順序を変更可能にしてほしい。若しくは、本邦寄港地情報に寄港順の表示を設け、任意で寄港順序が変更できるようにしてほしい。	サブWG(入出港)対象	S	
138	海上	入出港	事務所個別	VTX01 IVS	①船舶運航情報登録(VTX01)の変更について、入港前統一申請(VPX)業務又は入港届B(VIX)業務後、出港までの間に、他港の代理店が変更できないようにしてほしい。	検討しない 1船舶あたりの運航情報件数の拡大及び船舶運航情報の複数登録化にて検討を行うため	S	

項番	区分1	区分	要望元	業務コード	変更要望内容	検討状況	検討要否	第8回WG委員意見
139	海上	入出港	事務所個別	VTX01 IVS	②入港前統一申請（VPX）、入港届（VIX）、出港届（VOX）の訂正について、本邦寄港順序の訂正が簡易に出来るようにしてほしい。	サブWG(入出港)対象	S	
140	海上	入出港	事務所個別	VTX01 IVS	③入出港届等照会（IVS）業務で照会した際に、どこの船舶代理店が船舶運航情報を訂正したかが分かるように、業務履歴を追加してほしい。	サブWG(入出港)対象	S	
141	海上	入出港	船舶代理店協会	VTX02	入国管理局及び税関に対する乗組員情報の登録及び変更のタイミングを統一してほしい。	個別検討会で確認 (入国管理局)	S	
142	海上	入出港	船舶代理店協会	VTX02	①税関と入国管理局に、共通のデータが送信されるようにしてほしい。	サブWG(入出港)で検討 要望内容詳細を確認	S	
143	海上	入出港	日本船主協会	VTX03 VTX04	次の航海において旅客及び船用品が無い場合、VTX03、VTX04業務でNILとして送信する必要があるため、当該業務に処理区分に「削除」機能を設けてほしい。	サブWG(入出港)対象	S	
144	海上	入出港	事務所個別	VTX13 VTX14	①入港前統一申請（VPX）業務で旅客と船用品情報を「無し」とした場合、旅客と船用品情報が添付されないようにしてほしい。	サブWG(入出港)対象	S	
145	海上	入出港	事務所個別	VTX13 VTX14	②入港前統一申請（VPX）業務で一度入力した旅客と船用品情報について、削除できるようにしてほしい。	サブWG(入出港)対象	S	
146			海上WG委員 (通関)	ECR	現行のECR業務では「記号番号」欄が4行（140桁）しか入力できないため、小ロット多品種の場合、「別紙明細」との入力しかできない。 <u>記号番号欄の桁数を拡大してほしい。</u>		△	

項番	区分1	区分	要望元	業務コード	変更要望内容	検討状況	検討 要否	第8回WG委員意見
147			海上WG委員 (通関)	ACL	<p>現行のACL業務では「記号番号」欄が4行(140桁)しか入力できないため、アナログ的に記号番号のみ紙に複写して、船社、CY等にFAXしている。</p> <p>記号番号欄の桁数を拡大するか、添付機能を追加してほしい。</p>	サブWG (ACL) において検討	S	
148			海上WG委員 (代理店)	BIA	<p>(現状) 在来船のマニフェスト登録について、1B/Lの貨物を陸揚げ後、直接複数の保税倉庫に搬入する場合、マニフェストの分割が出来ない為、倉庫側でBIAが出来ない。システム外搬入を行おうとしても上流にデータが有り、エラーとなるため折角登録したマニフェストデータの削除を求められる。又、マニフェストデータが有る状態で別の貨物番号でシステム外搬入を行った場合、登録したマニフェストデータが宙に浮いてしまうため、結局削除を求められる。</p> <p>(要望内容) このようなシチュエーションでマニフェストデータを削除せずに、BIAが行える仕組みを考えて頂きたい。</p>	<p>対応不可 運用について税関に検討をお願いする。</p>	×	